

### 空家対策の現状は

連携した団体とも協力し  
本町に合った対策をする

**問** 本町では、2月6日に空家対策のため4団体と2つの連携協定を結んだとある。本町としては、まずどこに重きを置き、どのように活動していくのか。

**答** 今回の連携協定は、空家の管理不全防止に向けた普及啓発や除却、利活用を目的に締結した。空家を増加させないための取組としては、所有者・相続人に対し「空家にしない」「早期に活用する」との意識の醸成に取り組むとともに、空家問題の理解を深めるセミナーの開催などを考えている。



池内 邦仁  
議員



高校生も空家問題啓発のため「グローバルな街づくり」講座を通じて様々な方々と協力して情報発信している。町としては、「松前町ゼロ予算事業」に本腰を入れてみては。



いずれにしても、今回7年ぶりとなる空家実態調査を実施し、連結協定を締結した団体とも協力しながら、本町のニーズに応じた空家対策に取り組む。適切な管理が行われていない空家が地域の生活環境に大きな影響を及ぼすことがないよう、空家等に関する対策を推進し、今後の活動の指針にしたいと考えている。

### 本町の農福連携の取組は

農福連携を進めるための協議  
の場を設けたい

**問** 農福連携による就労の生きがいの場創出と労働力の確保は。

**答** 町内では、障がい者就労支援施設のうち、3事業所が農業経営者と農作業委託契約を結び、野菜の定植や収穫、選別作業などを行っている。

農福連携は、農業分野の喫緊の課題である労働力確保が期待される取組である。障がい者にとっても、農業を通じた働く場の確保などに加え、地域との交流の場となることが期待される。今後、他自治体の先進事例を参考にしながら、本町に適した農福連携を進めていけるような



影岡 俊範  
議員



体制づくりに向け、協議の場を設けたい。

農福連携とは？  
・農福連携とは、障害者等の農業分野での活躍を通じて、自信や生きがいを創出し、社会参画を実現する取組です。  
・農林水産省では、厚生労働省、法務省、文部科学省と連携して、「農業・農村における課題」、「福祉（障害者等）における課題」、双方の課題解決と利益（メリット）がある Win-Win の取組である農福連携を推進しています。

### 带状疱疹ワクチン費助成は

町単独の助成は、  
今のところ考えてない

**問** 带状疱疹ワクチンが定期接種化されたが、本町独自の助成の考えは。

**答** 接種費用の助成については、県内市町で協議の結果、接種委託料からワクチン相当額を除いた金額とした。

町単独の助成は今のところ考えてないが、国や他市町の動向を注視していきたい。

予防医療の観点からも接種を勧奨し、本町独自の助成をしてほしい。